

認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する

会 ORMZ ニュース第 126 号 (R4.1.23)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7（メール info@ormz.or.jp） 文責：日高良雄



はじめに 2022 年、新年を迎えました。今年は北京冬期オリンピック、パラリンピックが 2 月に開幕予定ですが、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染急増でまたもや厳しい年の始まりとなりそうですね。

さて、当法人の活動は 2012 年に始まりました。丸 10 年が経過しました。

残念ながらこの 2 年、新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動ができていませんが、ザンビアの辺地で医療の恩恵を受けられない方々、6 地区、約

3 万 6 千人の人々に巡回診療による無償での医療サービスを提供すると共に、地区住民の皆さんへの啓発、コミュニティヘルスワーカー（CHW）の養成、安全な飲料水を確保するための延べ 20 基の井戸掘削、さらには各戸毎のマラリア蚊殺虫剤噴霧実施などなど、毎年様々な活動を行ってこれてきました。山元香代子先生の頑張りはもちろんですが、現地スタッフ、CHW の頑張等により、マラリア（疑含む）等に感染して亡くなる方は確実に減少しています。また、昨年 11 月からは現地に精通されている日本人スタッフを雇用し、ヘルスポスト（簡易診療所）設置に向けた第一歩を踏み出しました。

もちろんこれらの活動は皆様のご支援により可能となったものであり、改めて皆様のご支援に心から感謝申し上げますとともに、活動の成果を皆様と一緒に分かち合いたいと考えております。

さて、2022 年最初の ORMZ ニュース第 126 号では、昨年の活動経過のご報告、現地の様子などをお伝えします。

2022 年も引き続き、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

会の経過報告等

・現在、2021 事業年(1 月～12 月)の活動のまとめ、決算等を行っています。詳しくは次回のニュースでお知らせします。

・2021 年一年間の主な活動状況は以下のとおりです。

・2 月 5 日理事会、2 月 12 日通常総会を開催し、2020 事業年の活動報告、決算及び 2021 事業年の活動計画案、予算案等について協議、原案通り承認されました。

・2 月 23 日、ORMZ ニュース第 115 号にて、活動報告、決算、2021 事業年活動計画、予算等について皆様にお知らせしました。

・ザンビアでの新型コロナウイルス感染症急増があり、巡回診療を一次休止、コミュニティヘルスワーカーに薬剤を配布し、マラリア患者への対応を依頼。

・4 月、新型コロナ患者発生の減少により巡回診療を再開。

・5 月 29 日、2012 年 11 月から巡回診療を手伝っていただいていた準医師のムレタさんが急逝。温厚で忍耐強く、遅くなくても愚痴も言わずに頑張ってくれていた方でした。カルテの整理や研修会の講師、マラリア蚊殺虫剤噴霧の際の監督など

本当にいろいろな場面で助けていただきました。突然の訃報に山元先生はじめ皆さんとともに悲しみにくれました。改めてお悔やみ申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます。

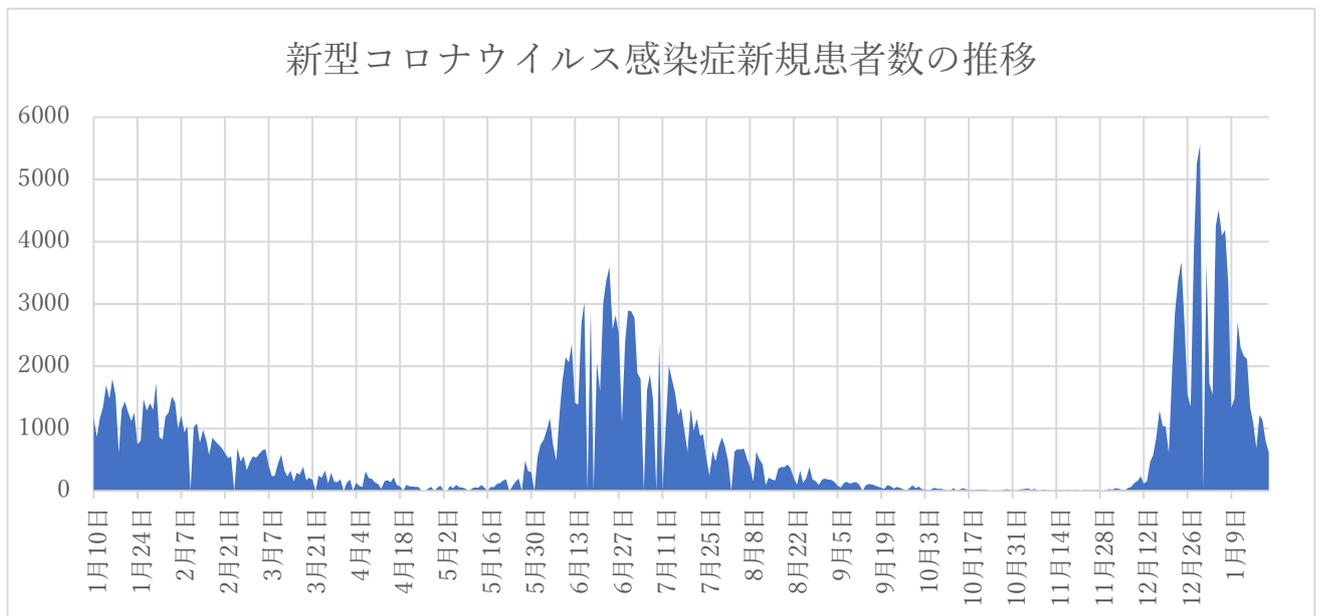


- ・6月17日、ザンビア政府が新型コロナ陽性者数急増に対し、学校の閉鎖、飲食店の営業時間短縮、マスク着用義務化などを発表。
- ・8月、大統領選挙が実施され、8月12日ハカインデ・ヒチレマ氏が大統領に選出されました。
- ・8月には新型コロナ陽性者数が減少してきたことから、巡回診療を再開。ニャンカンガやルアノ地区の井戸の修理を行いました。
- ・9月19日、恒例の「ザンビアの辺地医療を支援する会を支援する会」主催によるチャリティゴスペルコンサートが、東京都福生市民会館で、万全な感染対策のもと開催されました。
- ・12月になり、また新型コロナ陽性者数が急増してきたため、12月15日のリテタ地区の巡回診療後はしばらく休止となりました。



*ザンビアの新型コロナウイルス感染症等の状況

・1月22日現在 総感染者数（内死亡者数） 300,587名（3,884名）



ザンビア現地情報（写真集として）



教会の年越し
イベントポスター



農村部の家の横の水溜のバケツ
雨水は洗濯や体を洗うのに使われます

